



# TWIN NORRIEJE CLUB MC CUSTOM BIKE SHOW

スウェーデンの小さな町で毎年5月の後半に開催されている「ツインクラブMCカスタムバイクショー」は北欧のみならず、欧州を代表するカスタムショーである。

「スウェーデン・ツインクラブ」には、カスタムにおけるトレンドは存在するだろうか？

明らかに私が感じたのは、往年の北欧・ツインクラブが随分と少なくなってきたということだった。

多くの人々にとってリジッドガンフテイルに換わり、そして使い勝手の良い防水サイドボックスが好まれる傾向。これはまさしく「ハーレー」母国に見られる傾向と同じだと思つ。そして、容易なホルトオンカスタムが見直されてもきている。パーツ単体を見ても、アルミを使うよりも本体の鉄を使ったパーツが増えている。

ショー自体は（これは毎年そうなのだが）スウェーデンとフィンランドのビルダーが引つ張っており、今年より積極的なビルダーたちがフィンランドからやって来た。平均年齢25歳の、突拍子もない発想を武器にする若きビルダーたち。ナックルヘッドやサイドバルブを併った風変わりなロシアのエンジン……。

ウィナーはスウェーデンの Stefan Englund 氏。23ポインルが軽快なフォルムのそれは、アンドリュースの

スウェーデンの小さな町で毎年5月の後半に開催されている「ツインクラブMCカスタムバイクショー」は北欧のみならず、欧州を代表するカスタムショーである。

「スウェーデン・ツインクラブ」には、カスタムにおけるトレンドは存在するだろうか？

明らかに私が感じたのは、往年の北欧・ツインクラブが随分と少なくなってきたということだった。

多くの人々にとってリジッドガンフテイルに換わり、そして使い勝手の良い防水サイドボックスが好まれる傾向。これはまさしく「ハーレー」母国に見られる傾向と同じだと思つ。そして、容易なホルトオンカスタムが見直されてもきている。パーツ単体を見ても、アルミを使うよりも本体の鉄を使ったパーツが増えている。

ショー自体は（これは毎年そうなのだが）スウェーデンとフィンランドのビルダーが引つ張っており、今年より積極的なビルダーたちがフィンランドからやって来た。平均年齢25歳の、突拍子もない発想を武器にする若きビルダーたち。ナックルヘッドやサイドバルブを併った風変わりなロシアのエンジン……。

ウィナーはスウェーデンの Stefan Englund 氏。23ポインルが軽快なフォルムのそれは、アンドリュースの

## 新進気鋭の若手ビルダー台頭。変わり始めたスウェーデン・ツインクラブMCメンバーと多くの友人たちによって主催されている。大きなスポンサーをつけず、人々に注目されるようなカスタムショーを続けているという事は希有とも言え、スウェーデンにおけるバイカー天国の最後の砦なのである。

「NORRIEJE」と書いた「ノルリエ」と読む。このスウェーデンの小さな町で行われたショーは、40人のTWIN CLUB MCメンバーと多くの友人たちによって主催されている。大きなスポンサーをつけず、人々に注目されるようなカスタムショーを続けているという事は希有とも言え、スウェーデンにおけるバイカー天国の最後の砦なのである。

Photo & Report : Sheriff



WINNER CUSTOM BIKE SHOW 07



SWEDEN





# Special CUSTOM BIKE SHOW FROM THE WORLD 2007

カムとチックルヘッドのシンダー、  
Tuet & Osbornのフライホイール、  
ノートのミッション、アマルGP  
のキャブ、そしてアルミ素材、8パ  
ルプのヘッドなど細かな工夫がされ  
ており、スタージスで行われるAM  
Dワールドチャンピオンシップに持  
ち込まれることが決定した。

